

堀切地区まちづくり推進協議会（3/22開催）全体会の開催報告
**地域が一丸となってまちづくりに取り組める体制を
 これから考えていきます。**

協議会には、現在、「鉄道」「活性化」「防災」の3部会がありますが、橋梁架替事業など、部会のみならず、協議会全体で、さらには、地域が一丸となって取り組むべき課題も増えてきました。

そこで、全体会ではこうした課題に対して、さらに効果的に対応していけるような協議会の体制の見直し・強化を検討していくことが確認されました。



堀切のまちの情報がかわら版

「ほりきりん」の着ぐるみができました！

堀切商店連合会制作

ほりきりんの誕生から約2年、ほりきりんは缶バッジや商店会の旗など、堀切の活性化のために活用していただき、様々な場所で活躍してきましたが、このたび、堀切商店連合会により、ほりきりんの着ぐるみが制作されました！！

ほりきりんの着ぐるみは、3月23日（土）、24日（日）の「震災復興支援セール」において華々しくデビューしました。

これからも堀切を元気に盛り上げるために、様々なイベントへの出演などまだまだ頑張ります！！

ぜひこれからもほりきりんをよろしくお願いします。みなさんにお会いできる日を楽しみにしています！



これからもほりきりんを
 よろしく！

推進協議会にも登場しました！



堀切地区のまちづくりについて、区ホームページでご紹介しています。
 トップページ→くらしのガイド→（まちづくり）→地域街づくり→橋梁架け替えをきっかけとしたまちづくり→堀切地区のまちづくり
 ~堀切地区のまちづくりに関する問い合わせは、下記をお願い致します~



堀切地区まちづくり推進協議会 事務局

葛飾区 都市整備部 街づくり推進課（半田、石田）
 代表 03-3695-1111（内線 2508）
 直通 03-5654-8391

このニュースは、堀切地区（堀切一丁目～五丁目）の皆さんに配布しております

【発行】堀切地区まちづくり推進協議会



堀切四丁目地区では、
**道路整備の具体的な検討を
 進めています！**

2年後の
 まちづくり事業等
 の開始を目指して

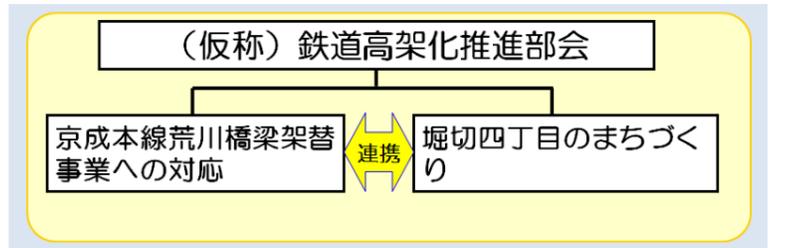
堀切四丁目地区では、平成24年10月12日、13日の2日間に渡って、「堀切四丁目地区の事業化に向けた意見交換会」を開催し、堀切四丁目のまちづくりを呼びかけました。その後、四丁目の方々と交えて検討体制を話し合った結果、当面は（仮称）鉄道部会の中に橋梁架替事業への対応を考えるグループと、堀切四丁目のまちづくりを考えるグループをつくり、四丁目のまちづくりは四丁目住民が中心となって取り組む体制が決定しました。

現在は、2年後の事業開始に向けて、まちの防災性を高めるための道路整備の具体的な検討を進めています。



10月の意見交換会の様子

➡ 四丁目まちづくりの
 詳細は、**2ページ**へ



堀切四丁目のまちづくりの当面の検討体制

**「ほりきり歴史ミステリーマップ」が
 葛飾区ホームページからダウンロードできます！**

お知らせ

江戸歴史散歩会などの協力を得て活性化部会が作成したこのマップ。ニュース17号でご紹介したところ、多くの反響をいただき、ありがとうございました！
 その声にお応えすべく、ホームページでダウンロードできるようにしました。



ダウンロード
 はこちらから

四丁目のまちづくりの検討は、こんな流れで進めています！

■ 特に計画路線沿いにお住いの方に呼びかけ、まち歩きワークショップを行いました！

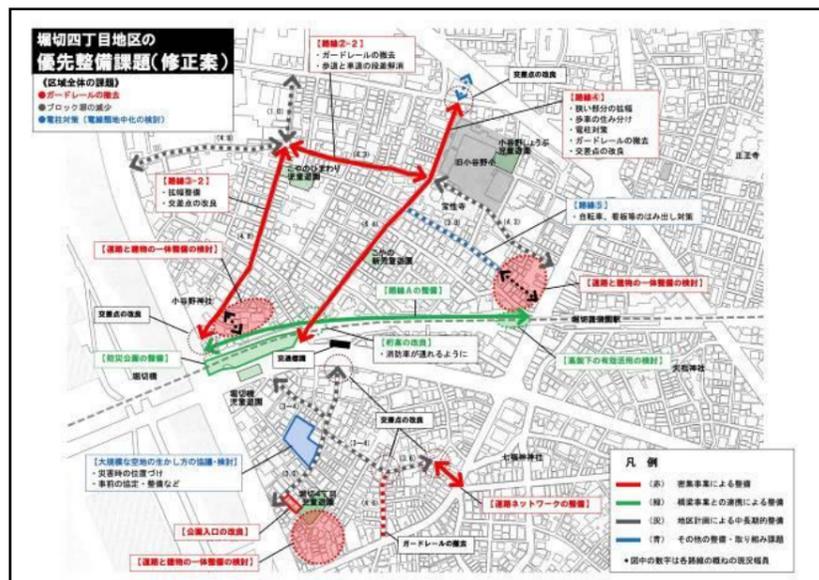
平成 25 年 1 月 27 日、特に堀切四丁目地区まちづくり整備構想における計画路線の沿道住民に呼びかけ、「道路整備の現地確認ワークショップ」を行いました。参加者 34 名のうち 19 名が初めて参加された方でした。

ワークショップでは、四丁目を3つのエリアに分け、3班に分かれてまちを歩き、現地の状況を確認しながら、「どのような道路を優先的に整備すべきか？」などの優先整備課題を話し合いました。



ワークショップの様子

■ ワークショップを踏まえ、優先整備課題(案)をまとめました！



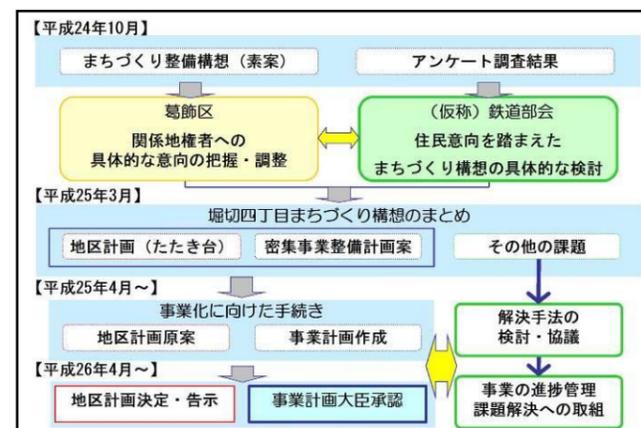
ワークショップで出された様々な意見を地図上に整理し、2月13日に開催した第20回部会において、『堀切四丁目地区の優先整備課題(案)』をまとめました。

優先整備課題(案)

■ 平成 25 年度は 1 年かけて事業化のための整備計画を作成します！

今後は、計画路線沿いにお住いの方の個別の事情等も伺いながら、個々の整備対象路線の計画幅員や、沿道建物の建替えのルールづくりなどを検討し、1年かけて防災面での効果と実現性の高い整備計画を作成します。

また、(仮称)鉄道部会では、より多くの方に参加していただけるように、はじめて参加された方も協議に参加しやすい工夫をしながら進めていきますので、四丁目にお住いの方は、是非お気軽に今後の会合にご参加ください！



今後のスケジュール(予定)

環境アセスに対する東京都の審査意見書が公表されました！

2月4日に、東京都知事から京成本線荒川橋梁架替事業の環境影響評価書案に対する『審査意見書』が公表されました。

『審査意見書』は、これまで堀切地区まちづくり協議会から提出してきた意見書や「都民の意見を聴く会」で述べた意見を踏まえて作成されたもので、「調査、予測及び評価は、おおむね東京都環境影響評価技術指針に従って行われたものである」と認めつつも、堀切地区などからの意見に配慮して「関係住民が一層理解しやすいものとなるよう努めるべき」とし、これまで堀切地区が指摘してきた「騒音・振動」「日影」「景観」については、より丁寧な対応と説明を求めています。環境影響評価に対する取り組みはこれで一段落しますが、今後は事業者との前向きな協議が期待できそうです。



「都民の意見を聴く会」の様子

【先進事例見学会の報告】(平成24年10月20日開催)

推進協議会の将来の組織体制を今のうちから考えておきたい！
…そのために、2つのまちづくり組織の活動を見学しました

これからどんなまちづくりができるかな？



【見学先①】まちづくりNPO『黄金町エリアマネジメントセンター』(横浜市)

「違法風俗のまち」を「アートまち」へ！

黄金町はかつて、関東屈指の青線地帯と呼ばれるような地域でしたが、子どもも安心して暮らせるまちにしようという声が集まり、まちづくりが開始されました。黄金町エリアマネジメントセンターは、アートのまちづくりをテーマに地域の活性化や空き店舗活用に取り組んでいます。

★活動のポイント！

・まちづくりを通して新しい楽しみが生まれる！
→アートのまちづくりを通して、いろいろな人とのつながりが生まれ、活動が楽しみとなり、活動を続ける意欲につながっています。



【見学先②】まちづくりNPO『向島学会』(墨田区)

住民自身がまちを知り、まちの魅力を伝える！

木造密集地域で堀切と同じように防災の課題を抱える向島では、住民が学生や大学の研究者など外部の若者たちとの交流や活動を通して向島の魅力を見つけ出しています。防災、雨水利用、アートなど多様な活動で住民にも、外部の人にも愛されるまちづくりを進めています。

★活動のポイント！

・NPO 法人として活動することで
「やってみよう！」を実現！
→まちづくりの活動を行うにもお金がかかります。活動に補助などを受けるためには法人格を持つことが重要でした。法人化することで「やってみよう！」を自分たちで実現できるようになりました。

